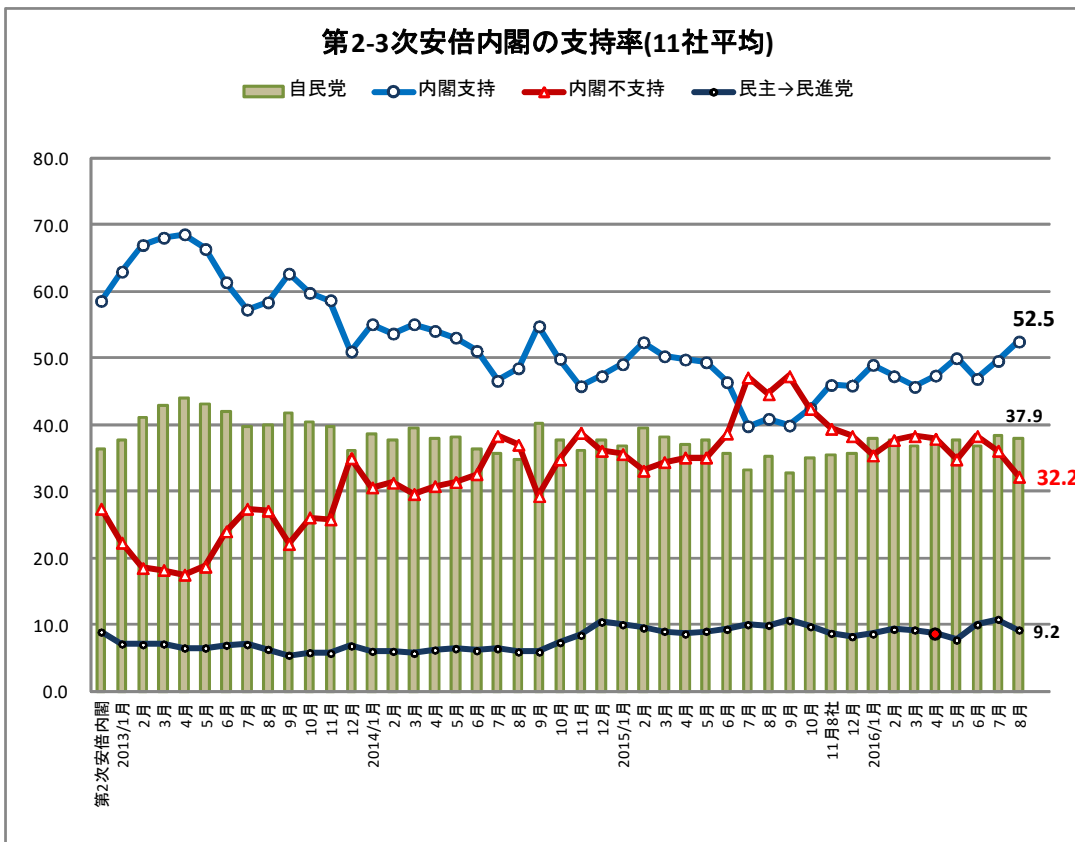


直近の世論調査から－2016. 9. 6(風向きが変わった？野党の選挙協力のあり方)

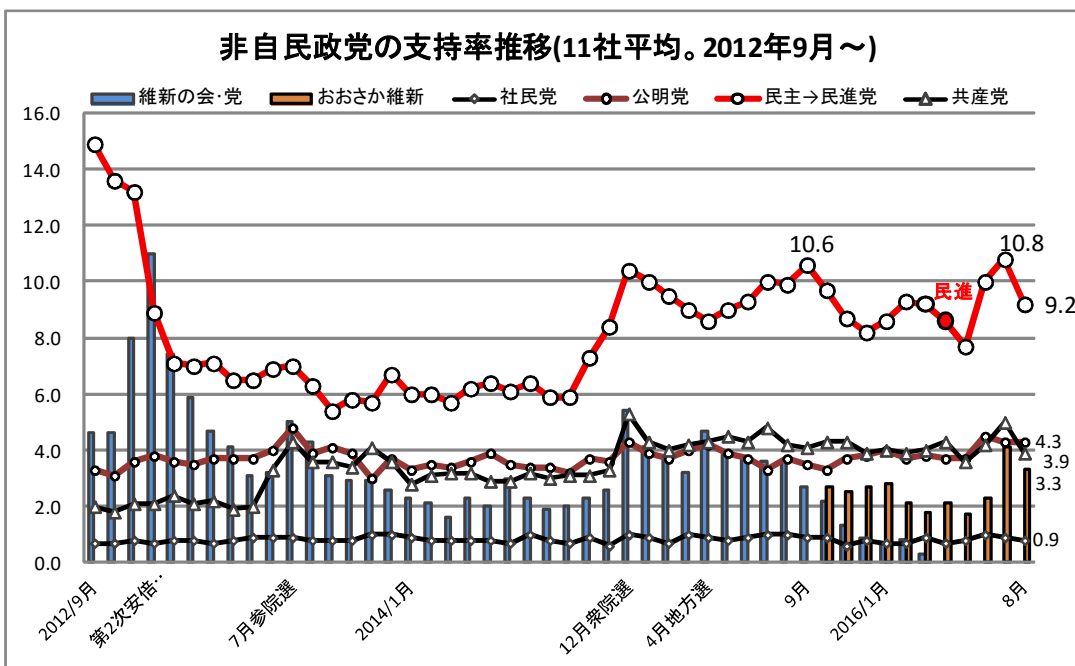
1. 内閣支持率52.5%に(2015年2月52.4%以来)。リオ五輪「安倍マリオ」演出に12億円？



①安倍内閣の支持率は8月は52.5%に上昇した。これは2015年2月の52.4%以来一年半ぶりだ。リオ五輪の閉会式では「安倍マリオ」が飛び出すサプライズ演出で、五輪旗引き継ぎに着物姿の小池都知事も脇役扱い。この「閉会式演出にかかる費用(パ

ラも含めての日本負担)は12億円」との報道もされた(共同通信)。安倍政権の世論操作にかける意欲は相変わらずすさまじい。「一強多弱」政治は揺るがない。

2. 民進党代表選に蓮舫・前原・玉木。世論の「風向きが変わった(?)」野党の選挙協力



②政党の支持率は自民が37.9%(前月比0.4%減)、民進は9.2%(1.6%減)で、他の野党も全体的に減となった。選挙月が終わったせいもある。

党再建をかける民進党代表選挙(9.15投開票)は蓮舫・前原・玉木3氏が立候補した。前評判から蓮舫優位ではあったが、9.5毎日調査でも、今

のところこの傾向は変わらない。新世代の玉木がどこまで支持を上げられるか注目されている。

民進代表選に立候補した蓮舫氏の評価は

	評価する	評価しない
FNN8.8	54.9	35.1

民進党代表にふさわしい人は

毎日9.5	①蓮舫 32	②前原 19
	③玉木 4	④関心ない 34

野党共闘について - 7月参院選まで参院選での野党候補の一本化に

	賛成	反対
6月2社平均	42.3	40.1
5月2社平均	41.6	41.8
4月2社平均	48.8	39.1
3月3社平均	46.7	33.3
2月2社平均	54.9	32.5
1月3社平均	51.3	32.1

野党共闘について - 参院選後

4野党の選挙協力は次期衆院選でも

	賛成	反対
NNN7.18	41.7	38.2
FNN7.18	50.8	35.6
日経7.25	47	36
平均	46.5	36.6

次衆院選でも野党統一候補(選挙協力)

	賛成	反対
朝日8.9	37	43
ANN8.15	32	50
平均	34.5	46.5

民進と共産の選挙協力は続けた方がよい

	そう思う	思わない
毎日9.5	28	51

代表選挙の争点の一つに共産党を含む野党共闘(選挙協力)のあり方の問題があるが、参院選が終わった段階で、世論調査でも微妙な変化が現れてきている様子だ。これまでも紹介してきたように、参院選投票まで、そして7月一杯の調査までは、一貫して「参院選での野党候補一本化」「次期衆院選での野党統一候補(選挙協力)」には賛成派が反対派に対して優位を見せる傾向があったのだが、8

月に入った2社(朝日・ANN)の調査では「次期衆院選での野党統一候補・選挙協力」に対して「賛成 34.5%・反対 46.5%」(2社平均)と風向きが急変している。直近の9.5毎日調査では、設問「民進党は参院選で共産党と選挙協力をしました。あなたは今後の選挙でも民進党と共産党との選挙協力を続けた方がよいと思いますか。」に対して「続けた方がよい」28%、「続けない方がよい」51%という結果が出ている。参院選後の、次期衆院選を展望した野党共闘・選挙協力に対する世論の「反応の変化」の意味をどう考えるかが問われている。「都知事選挙での敗北で野党共闘の内実が問われるようになった」との指摘もあるし、9.6朝日コラムでは、北大の吉田徹教授は「(衆院選では)参院選の時のように『～させない』という現政権への反対だけでまともやり方は通用しません。積極的に『～をします』というアピール、どういう連立の枠組みでどういう政策をとるのかを議論しておかなければなりません」と指摘している。この世論動向の変化については、もう少し詳しい分析が必要だ。

3. 「安倍首相下での憲法改正」には変わらず反対が圧倒。国会での議論開始には肯定的

憲法改正について

	賛成	反対
NHK8.8	30	32

※どちらとも 32

憲法改正に賛成か

	賛成	反対
7月2社平均	40.2	43.4
6月FNN	43.3	45.5
5月ANN	32	47
4月2社平均	37.6	46.2
3月FNN	41.3	47.3

安倍首相の下での憲法改正

	賛成	反対
毎日9.5	32	53
7月3社平均	36.3	47.0
6月共同	35.9	48.2
5月共同	35.0	54.9
4月2社平均	29.6	54.8
3月6社平均	34.4	52.4
1日日経	34	46

国会で憲法改正論議を進めることに

	賛成	反対
毎日8.5	44	40

国会で改憲の議論を具体的に進めることに

	賛成	反対
ANN8.15	63	23

9条を改正することに

	賛成	反対
ANN8.15	27	56

※NA.DK 17

9条以外の条項を改正することに

	賛成	反対
ANN8.15	48	20

※NA.DK 32

憲法改正論議してほしいテーマは

毎日8.5	①9条 32
	②衆参のあり方16 ③国と自治体関係14
	④緊急事態条項12 ⑤天皇の位置 8
	⑥環境など新しい人権 4

③参院選で改憲勢力 2/3 超を確保した与党だが、憲法改正については相変わらず反対派が優位なのだが、わずかだが賛否が接近してきているのかな？と感じさせられる。8.8NHK はいつもの三択回答で憲法改正賛成 30%。反対 32%・中立 32%と三分割されているが、6月と7月の調査は賛否の差が2～3%しかない。

ただし「安倍首相の下での憲法改正」については、直近の9.5毎日で賛成 32%・反対 53%で、これまでの「賛成派 3割台、反対派がほぼ5割」という比率は変わっていない。

国会で憲法改正についての議論を始めることに対しては、毎日が「賛成 44%・反対 40%」、ANNは「賛成 63%・反対 23%」と、設問内容の微妙なトーンによる反応の違いはあるように思うが、全般的には世論は寛容のようだ(この傾向は先月のレポートと同様だ)。

憲法改正論議のテーマとしては(毎日 8.5)、やはり9条問題が32%で多く、衆参のあり方16%、国と自治体関係14%、緊急事態条項12%の順になっている。ただし「9条改正」については、これまでの調査傾向と同様に、「賛成 27%・反対 56%」と反対派が多く、むしろ「9条以

外の条項改正」での「賛成 48%・反対 20%」という結果が出ている(ANN8.15)。

4. 「天皇陛下、生前退位」－政府は特措法で対応検討。女性天皇・宮家問題などを回避

④ 7月と8月の世論調査では、天皇の「生前退位」の扱いをめぐる調査項目が一番多くなって

天皇の「生前退位」問題に関心があるか

	関心ある	ない
読売8.12	88	11

天皇「生前退位」の制度改正について

	肯定的	否定的
JNN8.8	84	10
共同8.5	85.7	10.8
朝日8.9	84	5
読売8.12	81	10
日経8.12	89	4
ANN8.15	89	5
NNN8.22	94.3	2.8
平均	86.7	6.8
読売8.5	84	11

天皇の「生前退位」の制度

	見直すべき	慎重に
毎日8.5	67	22
FNN8.8	70.7	27.0
時事8.12	64.4	30.2
平均	67.4	26.4

制度改正を急ぐべきと思うか

	急ぐべき	慎重に
読売8.12	52	43

天皇の負担軽減のために摂政をおくことに

	賛成	反対
朝日8.9	73	15

天皇の意向表明は憲法上の問題が

	あると思う	そう思わない
日経8.12	9	83

天皇の「お気持ち表明」は良かったか

	良かった	良くなかった
読売8.12	93	3

生前退位－政府の対応は

日経8.29 ①制度改正を急ぐべき 43

②改正は時間をかけて 45 必要ない 5

制度の見直しは具体的には

NNN8.22 ①一代限りで 13.4

②制度見直し 77.0 ③必要ない 3.9

制度の見直しで懸念されること

NNN8.22 ①新旧天皇の併存 3.9
②強制的退位 18.1 ②自分で退位 11.5
④憲法に抵触 5.7 ⑤問題なし 39.0

女性宮家などの検討について

日経8.12 ①女性天皇・宮家を検討すべき 16
②女性宮家は検討すべき 6
③どちらも検討すべき 58
④どちらも検討すべきでない 11

女性天皇を認める事に

	賛成	反対
読売8.12	72	15

女性宮家を認める事に

	賛成	反対
読売8.12	64	18

法改正は天皇退位だけ？全体のあり方も？

ANN8.15 ①天皇退位だけ 28

②全体も慎重に検討すべき 55

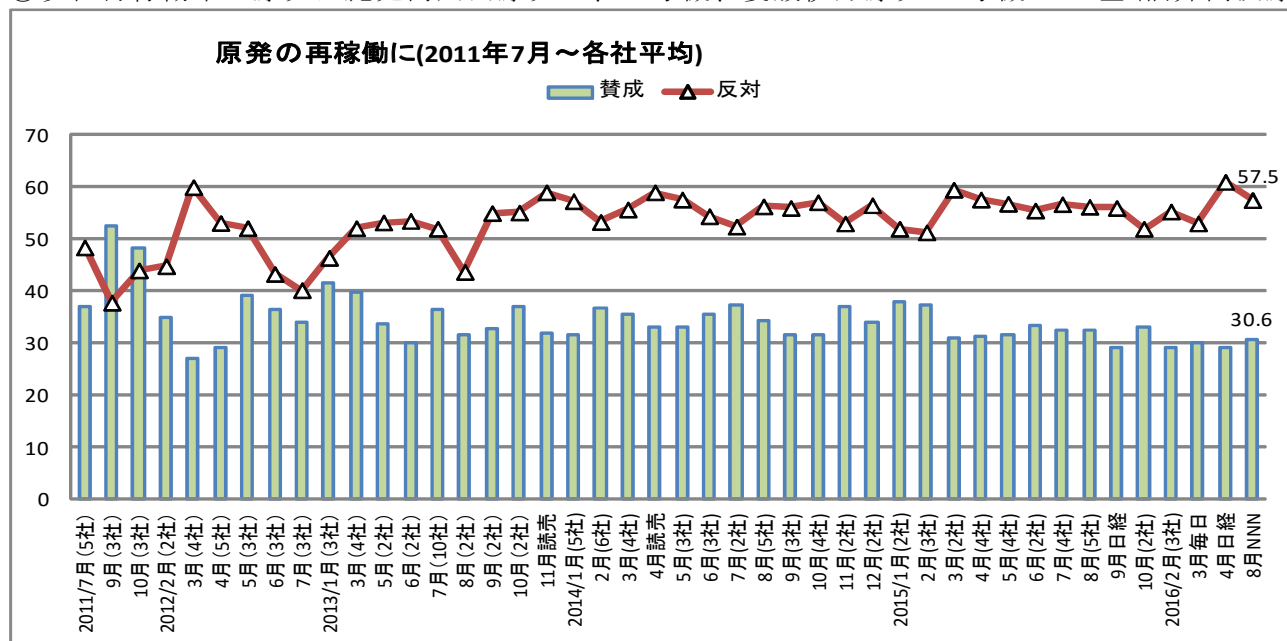
いる。
国民の関心も圧倒的に高い(関心ある 88%、制度改正について肯定的 86.7%)。
皇室典範の改正問題は、かつて小泉内閣時代にまとめられた有識

者会議の報告書(2005年11月)では「女性天皇及び女系天皇を認める」ことなどを柱とされたが、当時官房長官だった安倍晋三は「男系維持の方策に関してはほとんど検討もせず、…拙速に議論を進めた」とこれを批判。さらに旧民主党政権時代の2012年10月、野田内閣がまとめた論点整理でも「女性宮家創設」などが盛り込まれたのだが、同年12月の総選挙で民主党政権崩壊、第2次安倍政権が成立し、これ以降、議論は沙汰止みになっていた。

議論の蒸し返しを恐れる安倍首相は、現在の天皇陛下一代に限り「生前退位」を認める特別措置法を制定することで対処しようとしている、との報道である。扱いを誤れば大問題になると分かっているのだ。

5. 原発再稼働に「賛成30.6%・反対57.5%」と基本傾向変わらず。その他テーマ

⑤ 現在再稼働中の原発は鹿児島川内原発1、2号機、愛媛伊方原発3号機の3基(福井高浜原



発 3 号機は仮処分を受けて停止中)。鹿児島県三反園知事が提出した「川内原発の一時停止・点検要請」に対して、九電は停止要請に応じないとの回答をした(9.5)。原発の再稼働については、2011年7月以来のデータをグラフにしてあるが、2011年9月、10月調査を除いてほぼこの5年間は、一貫して「再稼働反対」の世論が揺るがない。8月のNNN調査でも、再稼働反対は57.5%と高く、再稼働に賛成は30.6%にとどまった。

以下は、8月の主要な各社世論調査のデータのみ紹介しておく。

アベノミクスを

	評価する	評価しない
日経8.29	40	43

景気は良くなると思うか

	思う	思わない
読売8.5	34	54

安倍首相の経済政策で成長が

	期待出来る	できない
朝日8.9	38	43

28兆円の経済対策を評価するか

	評価する	評価しない
朝日8.9	40	36

28兆円の経済対策で景気は良くなる

	思う	思わない
共同8.5	21.0	65.0
日経8.12	24	61
平均	22.5	63.0

日銀のマイナス金利政策を

	評価する	評価しない
日経8.29	33	47

物価はこれから上がると思うか

	思う	思わない
日経8.29	60	33

公的年金制度の維持に対する不安は

	感じる	感じない
朝日8.9	80	18
NHK8.8	73	20
平均	76.5	19.0

年金運用に株式の割合を増やした

	適切だ	適切でない
朝日8.9	26	44

次期首相をめざす石破氏に

	期待する	期待しない
毎日8.5	34	49
NNN8.22	44.0	37.6
平均	39.0	43.3

稲田防衛相(人事)を評価するか

	評価する	評価しない
読売8.5	32	41
FNN8.8	31.7	49.8
NHK8.8	35	54
共同8.5	32.1	43.0
平均	32.7	47.0

内閣改造を評価するか

	評価する	評価しない
読売8.5	53	28
FNN8.8	40.4	42.1
JNN8.8	48	33
朝日8.9	37	34
NHK8.8	48	43
共同8.5	41.3	34.2
ANN8.15	32	37
NNN8.22	31.0	36.4
平均	41.3	35.9

自民党総裁の任期を延長することに

	賛成	反対
毎日8.5	36	53
JNN8.8	41	46
朝日8.9	29	48
共同8.5	37.8	52.5
日経8.12	41	45
時事8.12	36.1	41.8
ANN8.15	36	48
NNN8.22	41.6	48.1
平均	37.3	47.8

丸川環境相を評価するか

	評価する	評価しない
読売8.5	37	39

二階幹事長(起用)を評価するか

	評価する	評価しない
読売8.5	41	30
毎日8.5	41	35
NHK8.8	42	43
共同8.5	43.2	40.2
平均	41.8	37.1

「働き方改革担当大臣」を新設したが

	評価する	評価しない
朝日8.9	59	33

「働き方改革」会議の設置に

	期待する	期待しない
NHK8.8	45	49

小池東京都知事に期待(評価)するか

	期待する	期待しない
読売8.5	76	19
毎日8.5	64	15
FNN8.8	78.3	14.8
JNN8.8	76	15
NHK8.8	75	18
平均	73.9	16.4

小池知事は東京五輪開催費用を検証

	期待する	期待しない
朝日8.9	82	11

安倍首相は東京五輪まで続けて欲しいと

	思う	思わない
日経8.12	59	29

東京五輪で力を入れて欲しいこと

日経8.29	①開催費用の見直し 28
	②メダル増・選手強化 11
	③交通網などインフラ整備 24
	④テロへの警戒 30

安保関連法に対する理解は深まったと

	そう思う	思わない
時事8.12	9.0	76.0

同法で海外紛争に巻き込まれる可能性は

	高まった	そう思わない
時事8.12	55.9	27.1

日韓合意による慰安婦財団背立で解決に

	向うと思う	思わない
読売8.5	19	71

慰安婦財団への10億円支出に

	賛成	反対
日経8.12	37	49

尖閣諸島一政府の対応は

日経8.29	①強い姿勢で臨む 55
	②もっと対話重視を 37

北方領土一ロシアとの交渉は

	4島全返還	一部返還でも
日経8.12	36	54

原発の再稼働について

	賛成	反対
NNN8.22	30.6	57.5
NHK8.8	17	46

※どちらとも 30

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)